

2019年8月1日

各 位

「技術研究組合 CO₂フリー水素サプライチェーン推進機構」への参画について

当社（社長：大田 勝幸）は、豪州における未利用褐炭から製造されたCO₂フリー水素を液化し、日本へ輸送する国際的なサプライチェーン構築に向けた実証事業に取り組む「技術研究組合CO₂フリー水素サプライチェーン推進機構（以下、「HySTRA」）」に、商用化検討を進める企業メンバーとして参画しましたので、お知らせいたします。

HySTRAは、将来における安価で安定的なCO₂フリー水素の本格的な活用に向け、「褐炭からの水素製造」、「液化水素の長距離大量輸送」および「液化水素荷役」という製造、輸送・貯蔵、利用に至るサプライチェーンで必要となる技術の確立と実証を目的として、2016年に結成されました。現在、新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、「NEDO」）の支援を受け、パイロット実証に取り組むとともに、2030年頃の当該技術の大規模な社会実装に向けて商用化検討が実施されています。

当社は、石油精製事業において大量の水素を製造・消費するとともに、水素ステーションにおける水素供給事業を展開しております。将来、水素の活用範囲が大規模発電や産業用途に拡大していく大量消費時代が到来した際には、CO₂フリー水素のサプライチェーン構築に先駆的に挑んできたHySTRAの取り組みが新たなエネルギーインフラの基盤になり得ると考え、今回、当社はHySTRAに参画することといたしました。

HySTRAへの参画を通じて、当社は、石油関連施設や水素ステーション等の既存インフラに加えて、長年、水素を取り扱ってきたノウハウを活用することにより、CO₂フリー水素の需要先創出の側面から早期のサプライチェーン構築に貢献できるよう、商用化検討に取り組んでまいります。

これまで水素事業に取り組んできた当社は、国際的な水素サプライチェーン構築においても、積極的に取り組み、水素エネルギー社会の実現に向けて貢献してまいります。

以 上

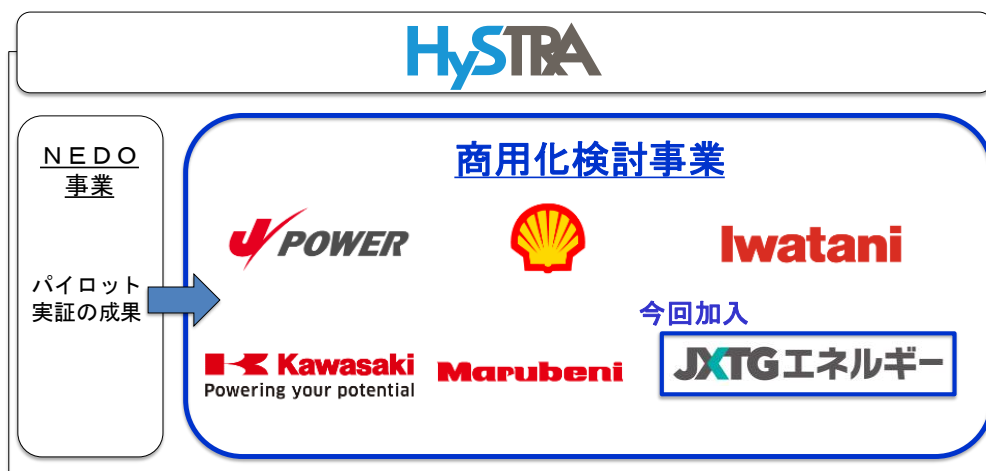


<参考>

1. HySTRAの概要

組織名	技術研究組合 CO2フリー水素サプライチェーン推進機構
略称	HySTRA
設立	2016年2月
組合員	岩谷産業株式会社、川崎重工業株式会社、シェルジャパン株式会社 電源開発株式会社、丸紅株式会社、JXTGエネルギー株式会社
理事長	原田 英一（川崎重工業株式会社 執行役員）
事業内容	褐炭を有効利用した水素製造、輸送・貯蔵、利用からなるCO2フリー水素サプライチェーンの構築を実現するため、2030年頃の商用化を目指した、技術確立と実証に取り組んでいます。
所在地	東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル7F
URL	http://www.hystra.or.jp/

2. HySTRA商用化検討の枠組み



3. HySTRAの目指すCO2フリー水素サプライチェーンイメージ

